希望の乙女（1958）

メディア 映画
ジャンル ロマンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 96分
初公開日 1958/09/10

【解説】
美空ひばりの母である加藤喜美枝による原案をもとに「ひばりの花形探偵合戦」の笠原良三と笠原和夫が脚本を書き、同作でメガホンをとった佐々木康が監督した。撮影も同作の西川庄衛が担当し、音楽は「おこんの初恋　花嫁七変化」の米山正夫。美空ひばりの芸能生活十周年記念映画として製作されたミュージカル作品である。
北海道の牧場で育った美原さゆりは、歌手になる夢を胸に出てきた東京で、クラリネットを持った相良丈二と連絡船の中で知り合う。敬愛する作曲家の月村浩一に弟子入りを頼むさゆりだったが、月村は失意の中で落胆していた。さゆりは月村の家に強引に住み込んで先生の世話をしながら、近所にある商店街の素人演奏家と一緒に町の楽団アケボノ楽団を結成、貧しくも楽しい音楽生活を開始する。一方さゆりが想いを寄せる相良とは会えば喧嘩ばかりだったが、湖上のボートで顔を合わせた二人は初めてお互いの気持ちを理解した。自信を取り戻した月村による指導のもと、アケボノ楽団は音楽活動を本格化させるのだが…。

【クレジット】
監督 佐々木康
製作 大川博
企画 岡田寿之
原伸光
原案 加藤喜美枝
脚本 笠原良三
笠原和夫
撮影 西川庄衛
美術 森幹男
音楽 米山正夫
出演 美空ひばり
高倉健
小野透
小野満
柳家金語楼
岸井明
花沢徳衛

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.